景観サポーターの取組み

景観サポーターとは、金沢市長から任命され、金沢の景観に関する点検や取材・記録などを行い、良好な景観形成のために活動する市民ボランティアです。

平成20年度に制度が創設され、現在第２期の方々が活動しています。

景観サポーターそれぞれが、金沢の景観に関して関心のあるテーマを選定し、潜在的な景観資源や景観阻害要因を明らかにし、課題整理や提言を行いました。

景観サポーターの活動展開

- 点　検：市内の景観チェック
- 誘　導：市民や事業者に対する景観誘導
- 取材･記録：金沢特有の景観資源の調査
- 参　画：景観に係る計画策定への参画

第2期景観サポーター　活動の概要

《任　期》

平成23年3月1日～平成25年2月28日

《メンバー》

稲垣　哲一	大塚　暢	勝尾　景子
神山　藍	黒瀬　千鶴	斉田　啓逸
境谷　桂一郎	佐藤　康夫	末冨　しげ子
髙木　信吉	髙島　聖子	高田　智広
武内　啓子	竹下　知子	田中　徳英
谷口　和男	津田　外喜弘	椿野　宏
長田　斉	中村　文雄	橋野　由佳
古地　早都美	室井　政徳	山原　紀三子
吉田　芳弘		（25名）

《取材記録した主な内容》

・木造高層建築物等とその周辺の景観
・泉用水の景観と住民とのかかわり
・街路樹が織りなす金沢の四季
・水鳥と浅野川の景観とのかかわりに関する調査
・舗装材から読み解く金沢の景観
・沿道における広告物や建物の調査

取材・記録①

木造高層建築物等とその周辺の景観

《概　要》

　金沢のまちを歩いていると、古い木造３階建ての建造物を見かけることがあるが、これらは金沢にとっての景観資産であり、後代に継承していくべきものである。

　そこで、木造高層建築物等の特徴、用途、由来とその周辺の街路景観について調査した。

寺町５丁目地内

尾張町２丁目地内

取材・記録②

泉用水の景観と住民とのかかわり

《概　要》

　市街地を網の目のように流れる用水の中で、市民にあまり知られていない泉用水について、近くに用水が流れている長所や短所などを沿線の方に聞きながら用水景観を調査した。

市民の憩いの場の整備

消雪水源としての利用

歩行空間確保の工夫

取材・記録③

街路樹が織りなす金沢の四季

《概　要》

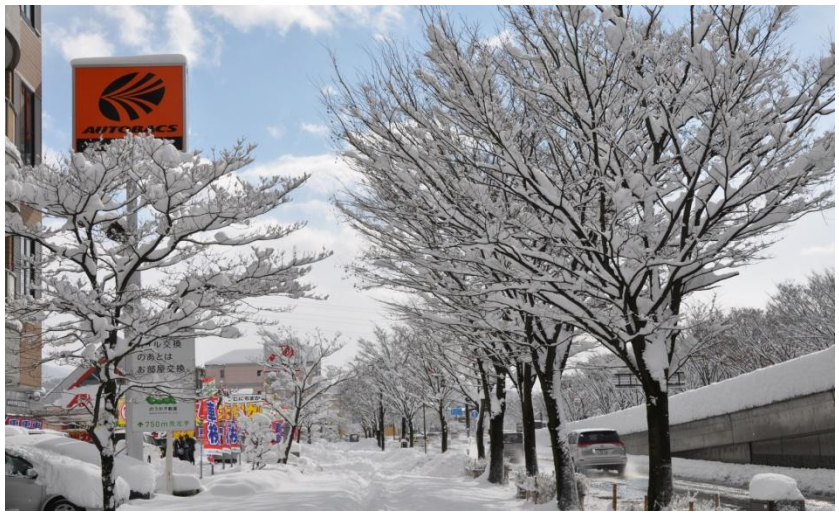
　沿道景観を構成する要素である街路樹のある景観を四季それぞれ撮影することで、季節ごとの街路樹の魅力を記録した。

《街路樹のある四季の景観（山側環状）》

－ 春 －

－ 秋 －

－ 夏 －



－ 冬 －

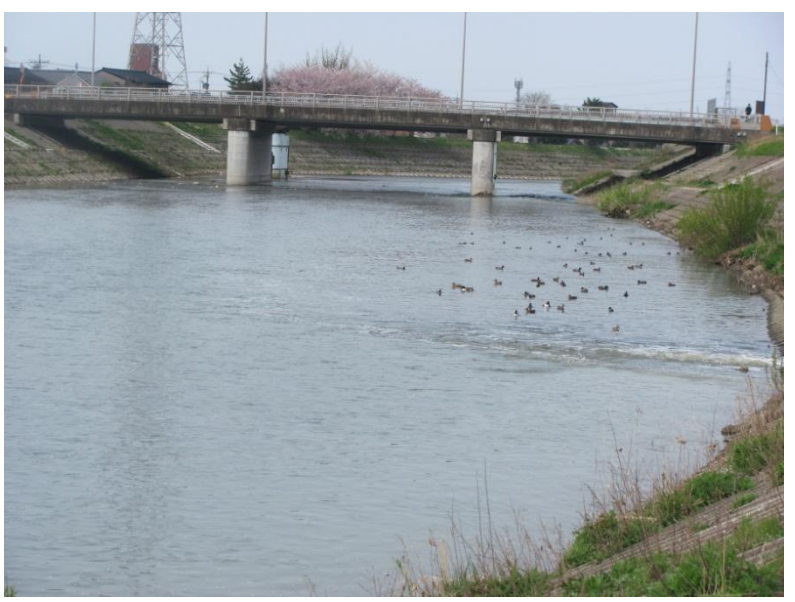
取材・記録④

水鳥と浅野川の景観とのかかわり

《概　要》

　水鳥たちが浅野川の景観を形づくる一要素になっていると考え、飛来している水鳥の種類や、水鳥が過ごせる美しい河川の維持などを含めて浅野川筋の景観を調査した。

浅野川大橋付近



七ツ屋町付近

常盤町付近

取材・記録⑤

舗装材から読み解く金沢の景観

《概　要》

　金沢市内の幹線や比較的幅が広い道路を対象として、景観舗装が街並みにふさわしいか、またバリアフリーにも配慮されているかを調査した。

金沢駅通り線（赤ミカゲ石）

広坂通り（赤レンガ）

百万石通り（鉄平石乱張り）

取材・記録⑥

沿道における広告物や建物の調査

《概　要》

　市街地へのアクセス道路は、金沢の第一印象を決定するものであり、まさに「金沢の玄関口」として、美しい沿道景観を形成していくことが大切であると考え、観光客になったつもりで沿道景観を調査した。

独立広告、建築物の改善例
（西インター大通り）